

身辺整理の次は

藤本 勇

今月の ZOOM の会のテーマは「身辺整理」に決まりました。

私には、もう身辺整理をするものはありません。10年前に45年住み慣れた宝塚市雲雀ヶ丘の家を処分して九州に転宅しました。それから3回引っ越しをしました。

家内が2009年にくも膜下出血で倒れてからは彼女の介護に明け暮れていました。

九州にいた息子からは「九州は魚は安いし家賃も安い」と言ってきた。当時は私も元気に車を運転しているが、そのうち出来なくなる日が来るだろう。

ネットの mixi に当時の引っ越しや身辺整理を書いたのが残っています。それを紹介します。

2012年 4月10日

九州への引っ越しを決めてからは引っ越し業者の選定、スクラップ業者との交渉、建物の解体業者との打ち合わせ、光子の入院していた病院からの紹介状など。せねばならないことが山のようにありました。

今までお付き合いしていた方々からは心温まるお別れ会や励まし会を開いていただき多額のお饞別を頂戴しました。カレンダーには連日の予定がびっしりと書きこまれました。

引っ越し業者の選定は全国に店舗を展開している大手の「アート引越しセンター」「ありさんマークの引っ越し屋」「サカイ引越センター」と相見積もりをとりました。価格は35～45万円。

荷造りから開梱まですべて「おまかせコース」で見積もってもらいました。最後にひやかして「日本通運」を呼んで見積もってもらいました。他業者はすべてトラック輸送でしたが、引っ越しのガイドブックに載っている「JR コンテナ便」を使っただけの見積もりは、何とすべてまかせて17万円。やはりトラックなら帰りの便は空車。往復の高速代、ガソリン代などで高くなるのだ。長距離の引っ越しは JR コンテナ便に限ると思いました。



次に45年も住んだ家の中には小生が一度も使ったことのない品もあり、老人には肉体労働は無理なので荷物の整理・残材の処理などをプロに頼みました。見積もりでは軽トラック2台で5万円といったので、少し疑問に思いましたが、親切そうな女性社員だったので、その業者に決めました。光子がいると作業は進まない。4泊5日でお泊りのショートステイに彼女を預かってもらって小生の独断で不用品を選別しました。朝9時からプロがやって来て手際よく私の指示で不用品をトラックに詰め込んでどこかに運んで行った。最初の2台では、とてもおさまらない。追加のトラックを頼んでやっと作業が終わったのが5台目だった。時間は5時を回っていた。家の中の押入れはガラン洞のようになった。光子が帰ってきたら果たして何と言うだろう。



後は引っ越し前日の荷物の梱包と引っ越しを待つのみとなったが、明日は藤本家の墓参り。週末には大学山岳会の総会、元の勤務会社の送別会などがあり、30年も光子が続けてきた陶芸のお仲間とのお別れ会などがカレンダーに書き込まれている。

晩年に四度の引っ越しをした。いま明石の老人ホームに持ってきたものは、私たちの原点である「結婚式」と「新婚旅行」のアルバムしかありません。

今の私には歩行器が無くては歩けません。身体はあちらこちら傷んでいます。歯は総入れ歯、耳は難聴、脱腸まで出て、目には目やにが出ています。車でいえばエンジンが動いてもギアが入らず前進も後進も出来ない状態です。もう廃車にすべき車です。

皆様よりも一足早く黄泉の国に旅立つでしょう。あちらに行けば高村や村尾にあって高津のZOOMの会の話をするのを楽しみにしています。